

KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが育つ古河



海老澤陽咲 ちゃん
(令和3年4月生まれ・女沼)
生まれてきてくれてありがとう。元気いっぱい育ててね♡
(父：卓、母：彩香)



三好大智 くん
(令和3年7月生まれ・古河)
歩くの大好き！ 食べるの大好き！ 姉兄大好き♡
(父：寛和、母：夏美)



高橋芽依 ちゃん
(令和3年9月生まれ・駒羽根)
毎日癒やしをありがとう♡とんがり帽子似合ってるー！！
(父：伯愼、母：志織)



佐野翔大 くん
(令和2年4月生まれ・本町)
翔くんの笑顔がみんなのエネルギー☆大好きだよ♡
(父：英輔、母：朱美)

お子さんの写真を募集中！ <対象> 0～3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールの場合は件名を「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティプロモーション課☎92-3111)へ申し込みください！



わたしの夢

小さいころからの目標

関智穂さん 仁連小学校6年生

私の夢は、みんなを笑顔にできる保育士になることです。私が保育士になりたいのは、幼稚園の時に担任してくれた先生みたいになりたいと思ったからです。その先生は、たくさんの子どもがいて大変そうなのに、みんなのことを笑顔にしていました。その時、私もみんなのことを笑わせてあげられる存在になりたいな、と思いました。

保育士は大変だと思いますが、夢に向かって、今できる勉強などをがんばりたいです。



ふるさと日記

心を動かすようなプレーを

Jリーグ・大宮アルディージャ
浦上仁騎さん(26歳)

23歳で念願のプロサッカー選手になった浦上さんは、2020年に移籍したヴァンフォーレ甲府では、得意のロングフィードや対人の強さ・統率力を発揮し、昨年の天皇杯でチームを初優勝に導きました。今季から大宮アルディージャへ移籍した浦上さんからメッセージをいただきました。

小学生の時は「自分が日本で一番サッカーがうまい」と思っていました。だが、中学生になり大宮アルディージャジュニアユースに入団し、上には上がいることを思い知らされました。それでも絶対にプロサッカー選手になるんだという強い思いで練習に取り組んできました。念願のプロになったのは、たくさんの方の支えがあったからです。

プロになってからはファンやサポーターの笑顔を見るたびに、勝利を届けることの喜びを感じるようになりました。天皇杯で優勝することができたのも、皆さんの熱い応援のおかげです。準決勝は小さい頃によく観戦に行ったカシマスタジアムで行われ、そこで鹿島アントラーズに勝利したことは一生忘れられません。

プロを目指す子どもたちには、自分の目標から逆算して今何をすべきか考えることを大事にしてもらいたいです。人生にも同じことが言えますが、楽しんで上達することはありません。そして家族や周りの人への感謝の気持ちを忘れないでください。

今季からは中学・高校時代にお世話になった大宮アルディージャに移籍しました。天皇杯での経験を生かし、J1昇格を目指して市民の皆さんに少しでも勇気や希望を与えられるように頑張りたいと思います。

～Profile～
1996年11月11日生まれ。RJC古河四小サッカー少年団→古河SS→大宮アルディージャジュニアユース・ユース→東洋大学。2019年AC長野パルセイロでプロデビュー。ヴァンフォーレ甲府では昨年の天皇杯優勝に大きく貢献。今季からは古河の大宮アルディージャに移籍



▲前列左から4人目が浦上選手



▲当たり負けしない体の強さが魅力